

北本中学校区 全体テーマ

『児童生徒の「生きる力」へと結びつく「基礎的・汎用的能力」の育成』

<令和3年度の3校の研究の基本的な考え方>

- 9年間で「こんな子どもを育てたい」という児童生徒像を共有する。
- キャリア教育の推進という研究のメインテーマを共有する。その上で、各校の課題解決に迫るため各校でサブタイトルと研究組織を設定して研究を推進する。
- これまでの研究成果を踏まえ、児童生徒及び教職員の交流活動を継続する。
*新型コロナウイルス等の感染状況をみながらできる範囲で実施する。

北本中学校

サブタイトル

自己有用感を高め、自己実現できる力の育成を目指した教育実践を通して
基礎的・汎用的能力の育成
(4つの能力)

- ◇北本中学校区3校校長会議(毎月1回・各校校長)
- ◇学校4・3・2制推進会議(各校校長・教頭・主幹)
- ◇3主会(毎月1回程度・各校主幹教諭・教務主任)

教職員の交流:3校合同研修会

3校の研究テーマに関わる内容
夏季休業中に1回のみ開催
三主会で各学校の状況を確認

児童生徒の交流

○合同サミット ○あいさつ運動 ○部活動体験 ○バスケット・陸上指導 ○体験入学 等

南小学校

サブタイトル

プログラミング教育とICT活用による課題対応能力の育成研究内容
研究内容

プログラミング教育に視点をあてた
基礎的・汎用的能力の育成

西小学校

サブタイトル

自分の将来に向けて行動したり、改善したりできる児童を育成する生活科・総合的な学習の時間を通して
研究内容

基礎的・汎用的能力の育成

<基礎的・汎用的能力とは>

キャリア教育の推進については、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日）によれば、社会的・職業的自立に向けて大切な能力として「基礎的・汎用的能力」の育成が強調され、「人間関係育成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力で整理されており、各学校や地域の課題に応じて新たな学習指導要領を踏まえて育成されることが期待されている。

◇ 人間関係育成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成できる能力である。

例えば、他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等があげられる。

◇ 自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。

例えば、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動があげられる。

◇ 課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。

具体的な様子として情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追及、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等があげられる。

◇ キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

例えば、学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等があげられる。

【北本中学校区の目指す児童生徒像】

○笑顔あふれ、本気でひた向きに、そして前向きになれる児童生徒

研究を推進するにあたり、キャリア教育に係るメインテーマを3校で共有し、各学校の課題解決を図るためにサブタイトル及び研究組織を3校独自に定めることにした。さらに、9年間で「こんな子どもを育てたい」という思いを明らかにするために、令和3年度から「目指す児童生徒像」を共有することにした。